



EBARA CORPORATE PROFILE

EBARA

The background is a vibrant blue with a complex, futuristic design. It features numerous glowing, curved lines that create a sense of motion and depth. In the center-right, there is a digital globe composed of a network of glowing blue dots connected by thin lines, representing a global network or data flow. The overall aesthetic is high-tech and digital.

EBARA'S NEW BUSINESS AREAS

100年先の世界を支えるために。 荏原グループの新しいチャレンジ。

1912年に創業して以来、世界中で暮らしや産業に必要な製品・サービスを提供し続け、社会課題の解決や地球環境の維持、改善に貢献してきました。次の100年に向けて、世界規模で事業を展開し、成長する産業機械メーカへとさらなる発展を目指します。

荏原グループの新規事業領域



航空宇宙

AEROSPACE

ロケット部品の開発で、宇宙空間の商用利用を拡大。

宇宙空間の商用利用が拡大する中、その基盤となる地上と宇宙を結ぶ新しい輸送インフラの開発が求められています。航空宇宙事業の本格的な始動に向け、ロケット部品の製品開発に着手しています。



水素

HYDROGEN

世界的な水素社会構築へ、荏原ならではの水素ビジネスを創出。

2050年のカーボンニュートラル実現に向け、世界的な水素社会構築への取り組みが加速しています。水素社会に親和性のある技術を持つ荏原は、水素を「つくる・はこぶ・つかう」ための独自のビジネスを創出します。



エコ

ECO

世界中の6億人に水を供給する、持続可能なビジネスモデルを構築。

地球温暖化や資源の枯渇など、グローバルな課題が年々深刻化する中、世界中の6億人への水供給を目標に各地の水インフラの整備に対応。国や地域ごとのニーズに合わせた持続可能なビジネスモデルを構築していきます。



マリン

MARINE

食糧問題などの解決に向けた、「海を休める」養殖システムの開発。

水産資源の需要増加に伴う食糧問題などの課題に対応するため、「海を休める」をコンセプトに、完全閉鎖型の陸上養殖システムを開発。流体・熱制御などの技術を活かして、水産資源の安定した供給を目指します。



バイオ

BIO

機械メーカの技術と新進バイオのシナジーで新規事業を創出。

荏原が強みを持つ熱流体技術やシステムエンジニアリング技術を、再生医療、細胞農業、脱炭素資源などの分野で応用します。バイオテクノロジーを活用した最先端の分野で、技術開発と新規事業の創出を進めています。

[創業の精神]

熱と誠

“熱と誠”は、荏原製作所の創業者 畠山 一清が座右の銘とした言葉です。

与えられた仕事をただこなすのではなく、自ら創意工夫する熱意で取り組み、誠心誠意これを作り遂げる心をもって仕事をする。そして、何事も熱意と誠意をもって人に接すれば、相手に通じないことはない。創業者自身が常に自身の行動の拠り所としたのに加え、従業員に対しても説き続けた言葉です。

“熱と誠”は荏原に脈々と受け継がれるDNAの一部であり、この精神が社会に貢献する技術・製品・サービスを生み出す源泉となっています。

[企業理念]

水と空気と環境の分野で、 優れた技術と最良のサービスを 提供することにより、広く社会に貢献します。

社会の課題解決やニーズに応える製品を開発する技術力と製品が効率的に使われるためのサービス&サポートを通じて、世界の国々の発展と、安心・安全で豊かな社会の実現を支えることで社会に貢献することが、荏原の使命です。

MESSAGE FROM THE PRESIDENT

グローバル・エクセレント・ カンパニーとしての もう一段の進化を目指して。

荏原グループは、1912年の創業以来、ポンプを中心とする産業機械メーカーとして社会・産業インフラを支えてきました。そして、冷熱機械、送風機、コンプレッサ・タービン、廃棄物処理施設の設計・建設・運営管理、半導体製造装置・機器などへ、着実に領域を広げてきました。さらに、コア技術を応用し、水素関連事業をはじめ、宇宙・マリン・バイオなどの新規領域にも挑戦しています。

事業を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中で、2030年にありたい姿長期ビジョン「E-Vision2030」を掲げ、世界中の社会・産業インフラや皆さまの豊かな暮らしを支えていきます。そして荏原グループは、次の100年も皆さまに喜んでいただける製品・サービスの提供を通じて、広く社会に貢献していきます。

取締役
代表執行役社長 CEO兼COO

細田 修吾



社会インフラから水素・航空宇宙まで。 グローバルなビジネスフィールドを支える 荏原グループの幅広い技術。

世界中の暮らしや産業の進歩を支えるために、
荏原グループは多彩なビジネスフィールドで
お客さまや社会を起点とした価値創造を続けています。

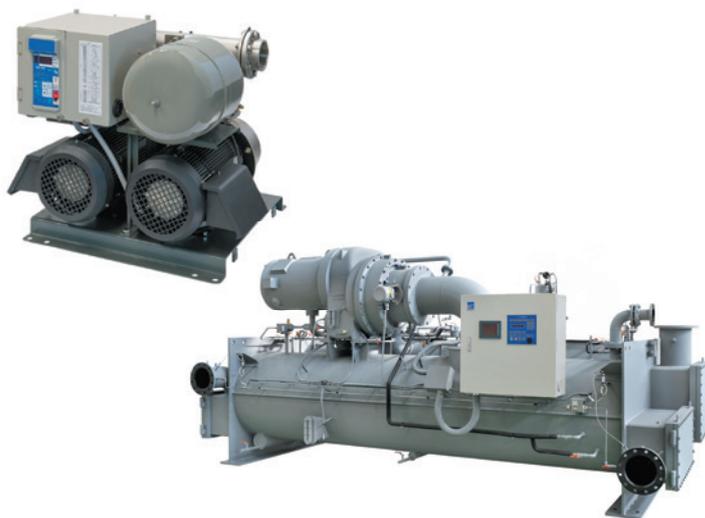
建築・産業カンパニー

生活インフラや産業施設などで活躍する
ポンプ、送風機、冷凍機、冷却塔の
トータルソリューションを提供します。

生活を支える水の給排水、ビルや商業施設の冷暖房や給排気、工場で使用する各種液体の移送など、多様なニーズに応えるポンプ、送風機、冷凍機、冷却塔の提供を通じて、快適で安心できる世界中の生活環境づくりと産業の発展を支えます。また、省エネルギー機器の開発を推進し、ライフサイクルコスト削減やCO₂排出抑制にも貢献します。



紹介動画へ



主な製品

- ポンプ
- ファン
- 冷凍機
- 冷却塔

主な対面市場

- 住宅
- オフィスビル
- 競技場、商業施設、ホテル
- 一般産業施設

エネルギーカンパニー

エネルギー領域で最良のソリューション提供者を目指し、持続可能な社会の構築に貢献します。

石油・ガス、電力、そして水素・アンモニアなどを主なフィールドに、荏原ブランドのポンプ、エリオットブランドのコンプレッサ・タービンなど、優れた機器とサービスを通じて最良のソリューションの提供を目指します。また、当社の特殊流体（気体・液体）圧送技術や極低温技術を通じた次世代エネルギーの普及により、持続可能な社会の構築に貢献します。



紹介動画へ



主な製品

- ポンプ
- コンプレッサ・タービン
- クライオジェニックポンプ、エキスパンダ

主な対面市場

- 石油・ガス
- 電力
- 次世代エネルギー

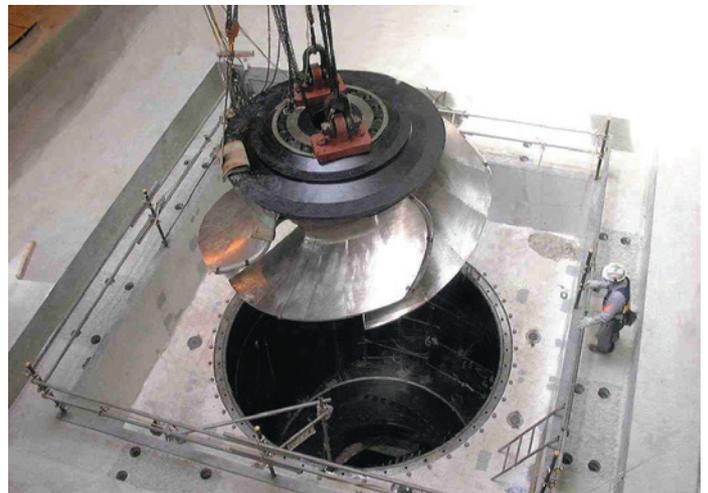
インフラカンパニー

社会課題の解決に向けてお客さまのニーズに合わせた最適なエンジニアリングの提案を行います。

ポンプ場・下水処理場・浄水場・トンネル、灌漑・農業などのインフラ施設において、新規建設から点検整備まで一貫したサポートをするとともに、各施設の特長に合わせたソリューションの提案を行います。長年培ったプラント設計のノウハウと幅広い製品群を活かして、安心・安全な社会インフラの構築に貢献します。



紹介動画へ



主な製品

- ポンプ
- 送風機

主な対面市場

- 上水道・下水道
- 農業
- 治水
- トンネル換気

環境カンパニー

地域に最適な廃棄物資源循環ソリューションを提供することにより持続可能な社会の構築に貢献します。

ごみ処理施設の建設から運営までを一貫して行い、衛生的な都市環境と安心・安全な生活を支えます。ごみ発電や焼却灰のリサイクルなど、ごみやエネルギーを地域で活かす循環システムも提供。AIやIoTを活用し、ごみ処理施設の建設・運営を高度化するとともに、資源循環ソリューションプロバイダとして新技術やサービスの開発に注力し、より良い社会の実現を目指します。



紹介動画へ



主な事業

- 一般廃棄物処理施設
- 木質バイオマス発電プラント
- ケミカルリサイクル

主な対面市場

- 固形廃棄物処理
- エネルギープラント
- リサイクル・資源循環
- 再生可能エネルギー

精密・電子カンパニー

世界最高水準の技術とグローバルサポートで安定稼働・生産性向上を実現します。

真空技術と平坦化技術のリーディングカンパニーとして、半導体製造に欠かせないCMP装置を始め、ドライ真空ポンプ、排ガス処理装置、オゾン水製造装置などさまざまな製品を世界中に供給しています。高性能、高信頼性、安心のグローバルサポート体制により、太陽光パネルや化学、医療などの製造業や研究開発用途にも採用され、産業の進化を支えています。



紹介動画へ



主な製品

- ドライ真空ポンプ
- CMP装置
- 排ガス処理装置
- めっき装置
- オゾン水製造装置

主な対面市場

- 半導体製造
- 太陽光パネル、化学、医薬、その他
- 研究開発

荏原グループの カーボンニュートラルへの取り組み

荏原グループは2050年にバリューチェーンにおけるカーボンニュートラルの達成を目指します。
当社製品を通じて顧客のGHG*1削減をサポートし、カーボンニュートラル社会の実現に貢献します。



*1 GHG:温室効果ガス、Greenhouse Gasの略称

*2 WBCSD:World Business Council for Sustainable Development 持続可能な開発のための世界経済人会議

ESG経営の更なる進化

持続可能な社会に向けた高度なESG経営の実践

E:環境 S:社会 G:ガバナンス

取り組み方針

カーボンニュートラル

自社製品・サービスを通じた
社会・環境への貢献、
ダイバーシティの推進、人権尊重

コーポレート・ガバナンスの
更なる高度化

[カーボンニュートラル]

- 事業活動を通じた環境負荷低減 (Scope1および2)
- 自社製品・サービス提供を通じた環境負荷低減 (Scope3)
- 廃プラスチックのケミカルリサイクル技術の商用化実現などGHGの吸収、除去



株式会社 荏原製作所

〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11-1
電話 (03) 3743-6111
<https://www.ebara.co.jp>



01-003-J31
2025年3月DN